

25 被服作品評価における関口式評価法の客観性とそ の尺度設定について（第1報）

郡山短大 ○関口 富左
原田 恭子
門馬 寿子

被服作品評価も科学性，客観性を付与せねばならない。関口式評価法の科学性について，客観性の検討を試みた。1作品当り10名の評定者により各々の作品を評価し，その評価の類似性及非類似性を追求したので，ここには種々の問題が含まれている。更にこの方法にともなう作品の評価基準を標本的に具体化し，これが尺度の設定に及ぼうとするものである。